

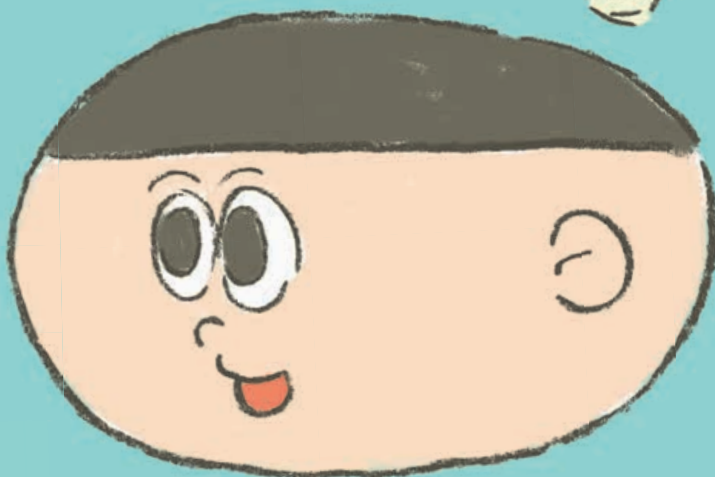
まち づくり ブック

MACHI ZUKURI BOOK

南アルプス市
MINAMI ALPS CITY



みんなのアイデアで
南アルプスが変わる！



日々の暮らしの中には、ピンと来ることがいっぱい。
たとえば…

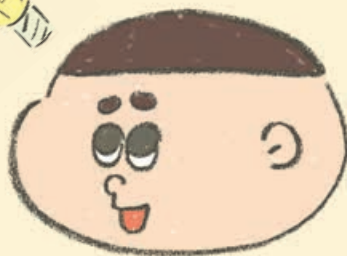


このような小さな気づき・発見・望みが、まちを良くするための大きなチャンス! なのですが、あなたの気づきや、あなたが見つけた問題は、ひとりではなかなか解決・実現ができないかも…。

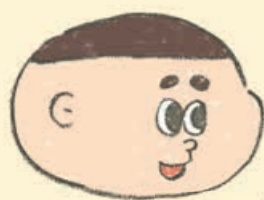
そこで!

① 気づき・発見・望みを、

あ! こういうことやりたい!



② みんなと協力して、



サンキュー



手伝うよ!



手伝うよ!

場合によっては
南アルプス市も手伝うよ!



③ 解決・実現させる!!



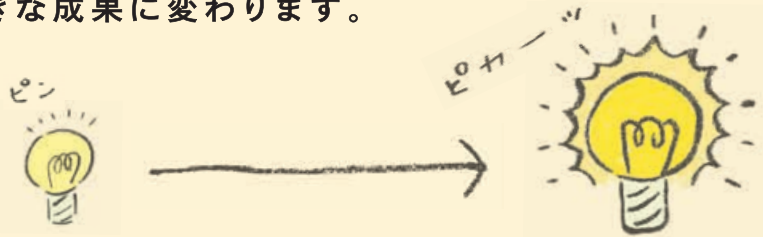
イエーイ!!



このような仕組みで目標を達成することを、
この冊子ではコラボレーション、
略して、コラボと呼ぶことにします。

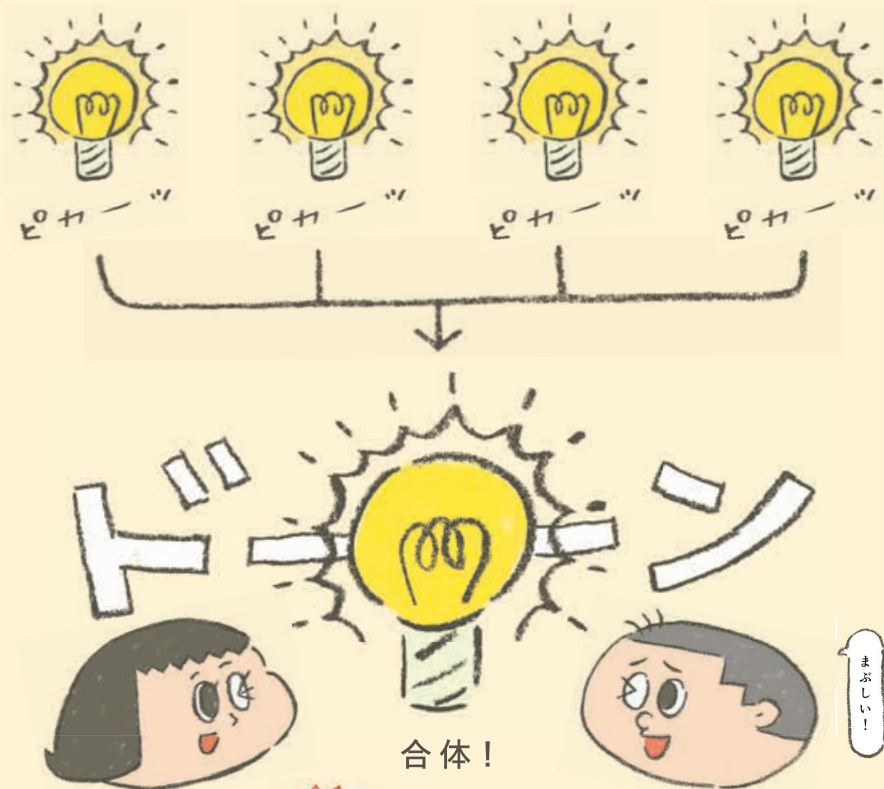
※一般的には「協働」と呼ばれていますが、何だか難しい言葉に見えて使いにくいので、「コラボ」とさせていただきます。

個人の小さな気づきや発見、望みは、コラボによって、
大きな成果に変わります。



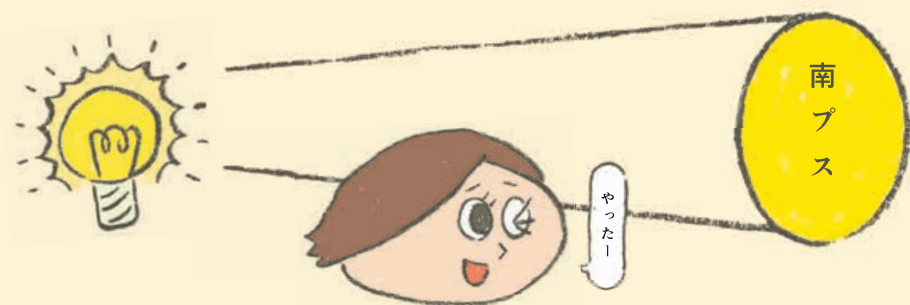
コラボの成果

さまざまなコラボが、南アルプス市のあちこちに
生まれて広がっていくことで、



とてもたくさんの輝きが生まれます！

たくさんの輝きは、まち全体を照らします。楽しいまちをつくるには、この大きな輝きが必要です。



みなさんの気づき・発見・望みが、この南アルプス市を、より良く変えるきっかけなのです。



次のページからは、南アルプス市で生まれた様々なコラボを紹介します。このまちに住んでいるひとが自ら動いてコラボした結果生まれた、大きな成果です。



フォトログ南アルプス市

南アルプス市の地域の魅力を発掘することができるイベントを開催したい！



集まってきたメンバーとそれぞれの気づき・発見・望み

フォトログを
地元でやりたい！



フォトログ南アルプス
小野千晶さん

おもしろそうだから
手伝ってみよう！



市民
手塚 健さん

市民が健康に
過ごしてほしい！



健康増進課
(南アルプス市役所)
坂場 徹さん

地域の資源を
発信したい！



文化財課
(南アルプス市役所)
保阪 太一さん



コラボのプロセス

小野さんが、地域のチェックポイントを巡って、得点を集めて競うフォトログというスポーツに参加し、地元南アルプス市でもやってみたくなり企画しました。観光地以外の地域資源や魅力を探しながらイベントをつくり上げることで、あらためて自分たちも地域を認識。情報を持っている方や、協力してくれる方など、スタッフを広く募りました。



1



2



3



4



1 / 学生や地域ボランティアとチェックポイントを探す調査や大会当日の打ち合わせ

2 / 大会の地図に使う写真の撮影

3 / フォトログ参加者とスタッフみんなで、スタート前に記念撮影

4 / チェックポイントを見つけて写真を撮る参加者

5 / 大会会場では参加者へ地域の特産品を振舞ったり、積極的に声をかけておもてなし

5



コラボの結果



ピッカーッ

県内外から参加者が100名以上集まる大きなイベントとなりました。スタッフとして参加した学生や行政職員、地域ボランティアなども、それぞれの得意分野を活かしながらかかわることができました。スタッフ同士が仲良くなることで、イベント全体がアットホームで楽しい雰囲気になりました。

イベントを通じて、参加者も実行委員も地域のことを知り、より興味を持つきっかけになりました。南アルプス市のことを好きになってくれる人が増えたように思います。

耕作放棄地で、さつまいもの栽培と、 獣害対策についても学びたい！

集まってきたメンバーとそれぞれの気づき・発見・望み

耕作放棄地で
さつまいもを
栽培したい！



子どもの村中学校 生徒
中川 登さん

耕作放棄地を
子どもたちの
学びの場にしたい！



子どもの村小中学校
加藤 博さん

獣害について、
多くのひとに
知ってほしい！



NPO法人 甲斐けもの社中
山本 圭介さん

農作物について
教えてあげたい！



市内の農家
深澤 宏彰さん

地域での市民の
活躍を応援！



市民活動センター
(南アルプス市役所)
勝俣 利江さん

コラボのプロセス

過疎化の進行で耕作放棄地が増加し、
獣害被害が多発する築山という地域を、
こどもの村小中学校が教育の場として利
用するため、生徒たち自らが発案。サツ
マイモを耕作放棄地で栽培し、食べる
までを経験する「食」をテーマにした授業を1年間行うことに。

地域の農家からは「どうせ動物に食べられるから作るな」と言われるも、子どもたちは一念発起。どうすれば動物たちに作物を食べられないかを研究するため、獣害対策の専門家として活動する市内のNPO法人 甲斐けもの社中と連携し、子どもたちが実地で研究しながら、さつまいも栽培を行うことになりました。





- 1/ 電柵の設置後、みんなで手を繋いで6,000kvの電流の流れを恐る恐るチェック
- 2/ 収穫祭当日、地元の方が訪ねて来てくれて、子どもたちに話をしてくれました
- 3/ 次にイモを掘り出す子どもたち
- 4/ 収穫されたサツマイモ
- 5/ イモ掘りの後、すぐに畝づくりをスタートし、冬野菜を植えようとしています。中学生が中心となって動いています

コラボの結果



収穫前にサルに畑に入られることはあったものの、電気柵を改善するなどした結果、サツマイモは被害に遭わず、無事300本を収穫！秋には収穫祭も開いて、地域の方を招待するところまでできました。単に作物を収穫するだけでなく、子どもたちが様々なひとと出会い、けもの対策を通して自然から多くのことを学び、お世話になっている地域に発信し、還元していく。このような子どもたちの取り組みは自らを大きく成長させ、自然を含めた地域での暮らし方について、大人たちに問いを投げかけるものでもありました。

子育てファミリーフェスタ

子育て支援のイベントで、
新しいつながりをつくりたい！



集まってきたメンバーとそれぞれの気づき・発見・望み

子育て世代の
声を届けたい！



TEAM 芦安若人
名取大介さん

新しいつながりを
期待したい！



ゆるりん母ゴコロの会
河口緩美さん

企業として地域の
子育てを応援！



ホンダカーズ峡西
金川健太さん

市の子育て支援を
発信したい！



子育て支援課
(南アルプス市役所)
渡辺正仁さん



コラボのプロセス

ファミリーフェスタのはじまりは、子育て世代の情報交換を目的とした、小さめの規模のイベント。子育て世代の現状や思いをもっと多くのひとに届け、たくさんの方のつながりを新たにつくりたいという思いが膨らみ、イベントをスケールアップすることに。

子育て支援団体、地域、企業、行政、多くのひとたちの協力を得て、みんなが関わることができるイベントになるよう、打ち合わせを何度も重ねました。





1/NPO、市民団体、行政各課、企業、ママのハンドメイドなど毎回約50団体が参加 2/遊び歌やダンス、リトミックなど楽しいステージ 3/パパたち手作りのダンボール迷路は毎回大人気! 4/親子で遊んだり、学んだり、体験したり。バラエティ豊かなブースが並びます。

コラボの結果



当日は市内外から3,000人以上の方が来場し、遊びや学びのコーナーやママたちのチャレンジブース、持ち寄った手作りの企画など、各ブースが賑わいを見せていました。子育て世代が地域と関わりながら、いきいきと活動する様子が来場者に伝わったり、市の子育て支援がPRできる場にもなり、「南アルプス市の子育ては楽しそうだね」と、後日、市外の方から声をかけられる嬉しい反響をいただきました。

また、イベント自体が評価されて、次年度以降は市の事業として実施されることになり、市内の子育て団体、NPO、行政を交えた実行委員会形式で開催されています。

みどりのカーテン

みどりのカーテンで室内の温度を下げて、
地球にやさしい街づくりの実践を!



集まってきたメンバーと
それぞれの気づき・発見・望み

エコ活動を通して
街を活性化!



NPO法人 協働で素敵に
まちづくり南アルプス共和国

櫻田 清さん

みどりあふれる
豊かな街に!



みどり自然課
(南アルプス市役所)

井上佐江子さん



コラボのプロセス

ペットボトルキャップや廃油の回収など、環境保全活動を行ってきました。ゴーヤーや朝顔などのツルを窓に這わせて窓を覆う「緑のカーテン」を市内に普及することで、エアコンの使用を抑え、二酸化炭素の排出量を減らすエコ活動を行いました。



左/緑のカーテン。屋外に設置することで室内の温度が5度前後下がります

右/緑のカーテンを支えるネットの準備をしているところ

下/市民活動センターに設置したゴーヤーの緑のカーテン。清涼感もあり、美しいまちづくりにつながります

コラボの結果



設置のアドバイスや苗づくりの講習会、写真コンクールなど、市民も緑のカーテンに関われるよう工夫しています。また花が好きな方、地域活動をした方など、幅広くボランティアとして関わってくれる人も増えてきました。活動を長く続けることで市民に浸透してきたように思います。



防災意識を高めて、
防災のスキルアップを図る！

集まってきたメンバーと
それぞれの気づき・発見・望み

命を守る人を
増やしたい！



NPO 法人 あんふあんねっと
軽部 妙子さん

幅広い世代に
防災の意識を！



防災危機管理室(南アルプス市役所)
志村 太さん

コラボのプロセス

東日本大震災がきっかけとなってスタート。災害発生時に身を守るには、防災関連の知識も必要ですが、地域とのつながりも重要になってきます。防災のスキルを身に付けるとともに、希薄になってきた地域の結びつきを強め、地域で災害に備えられればと、全国から講師を招き、ワークショップを行うことに。



左 / さまざまな防災グッズを試し、わが家にあったグッズを模索中の参加者親子

右 / 消防本部の講師による、心肺蘇生、遺物除去等の処置方法を真剣に学ぶパパ&ママ

コラボの結果



避難所体験型の防災キャンプを、これまでに7回行ってきました。防災関連のスキルアップはもちろんですが、キャンプを通じて、参加者のコミュニケーション能力が向上しました。また、お母さん同士で定期的に情報交換を行えるようになったり、自治体に入っていなかった方が、防災意識の高まりによって、自主的に自治体に入るようになったことは大きな成果です。

また、防災キャンプの開催によって、市の防災危機管理室と関係を構築。防災危機管理室の方から情報が入るようになり、一層災害への備えができるようになりました。



コラボの先輩に訊く！

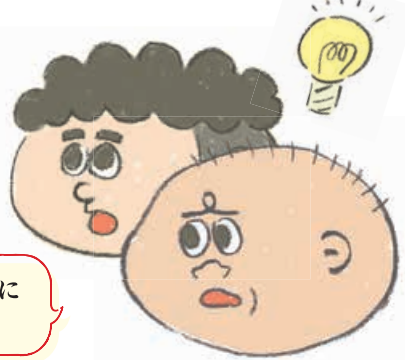
これまでにコラボを経験した
様々なグループの皆さんの感想を紹介します。

❶. 活動のきっかけは？

無添加の食材を手に入れたい！

❷. 活動して良かったことは？

食品だけでなく、広く環境問題に
取り組めるようになりました。



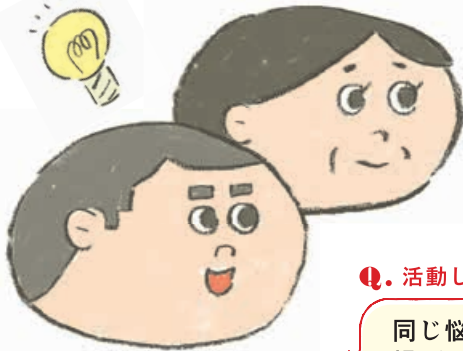
食品の安全性
に取り組む団体

❶. 活動のきっかけは？

引きこもりの子どもを持った
親が悩んでいた！

❷. 活動して良かったことは？

同じ悩みを持った親たちが語り合える
場所を作ることができました。



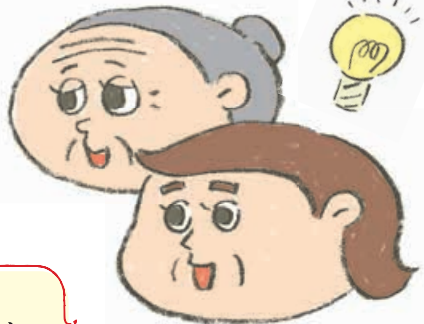
引きこもりの
子どもたちの支援
に取り組む団体

❶. 活動のきっかけは？

大正琴を普及させたい！

❷. 活動して良かったことは？

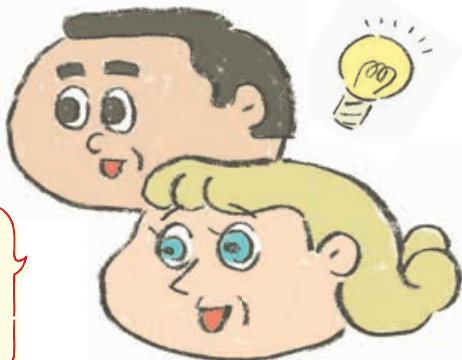
イベントや体験会を通じて、
大正琴を知ってもらうことができました。



楽器の普及活動
に取り組む団体

❶. 活動のきっかけは？

市内在住の外国人の子どもの日本語学習、学校生活への支援をしてあげたい！



❷. 活動して良かったことは？

外国文化、特に学校生活の違いを知り、子どもたちへの学習支援が不十分なことを実感。支援の重要性を感じました。

国際交流・異文化理解
に取り組む団体

❶. 活動のきっかけは？

ネイルを通じて地域の役に立ちたい！

❷. 活動して良かったことは？

地域の人たちに、ネイルの魅力を知ってもらえました。それに加えて、地域の人たちと繋がりを持ってました。

ネイルを活用した
社会福祉活動
に取り組む団体

message

これから活動するひとたちへ

市 民活動やボランティアは人に喜んでもらえることで、自分自身が大きな喜びと元気をもたらすことができます。

何 ごともしやってみないと分からないので、まずは行動を起こすことが大事です。あきらめずに続けることで思いは叶います。

興 味のあることに参加してみてもいいです。人との出会いは多くを学ぶことができ、自分一人ではできないことも力を合わせれば実現できます。

コラボのやりかた

南アルプス市では、小笠原にある市民活動センターが積極的に市民のみなさんのコラボを応援しています。ここではコラボのやり方について順を追って説明をしながら、市民活動センターのできることを紹介していきます。

START

1

普段の暮らしで、
ピンとくることがあったら…

子どもが遊べる場所が
少ないなあ…



気づき

2

その想いを実現するための、
アイデアを練りましょう。

どうやったら
子どもが遊べる…?

公園を借りる？ 公民館を借りる？
そもそも何をして遊ぶ…？

IDEATION



市民活動センターのできること

アイデアを一緒に考えたり、
協力してくれるひとを探したりします！

ほかのひとに協力してもらって、
アイデアを出すのも近道です。



どうしたらいいでしょう？



そういえば、こんな場所が…

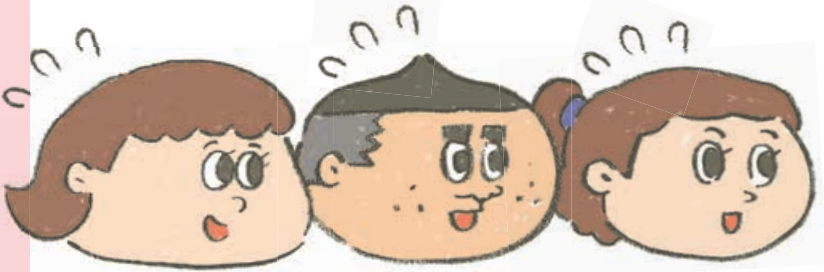


市民活動センターのできること

アイデアを膨らませるための専門家や、同じようなことをしている団体のご紹介もできます！ さまざまなアイデア・知識を持ったひとが集まる場のセッティングも行っています！（月1回程度）

3

アイデアが固まってきたら、
計画を立て、実現に向けて動きます。



市民活動センターのできること

印刷機や打ち合わせの場所をお貸ししたり、協力してくれる方を探したり、みんなで話をする場を設けたりできます。また、進め方のアドバイスや、準備のお手伝いもできます！

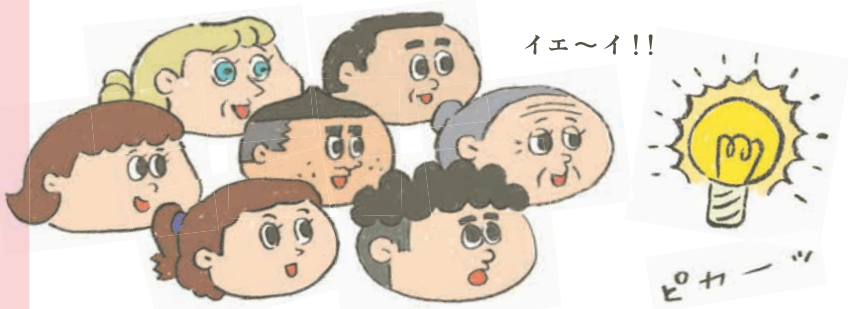
4 活動当日に向けて、告知を行います！



市民活動センターのできること

告知のお手伝いを行います。チラシづくりやwebサイト、SNSなどでの告知のサポートを行います！

5 当日は多くのひとと楽しみましょう！ できればその後も活動を継続して、 活動の輪を広げていってください！



市民活動センターのできること

当日、サポートが必要であれば、
人手を確保したり、協力できるひとを探したりします！



COME ON!

南アルプス市市民活動センター



市民活動センターは、市民の皆さんのコラボのお手伝いを行っています。以下のような活動サポートが受けられますので、お気軽にご相談ください。

活動の相談

情報発信

コラボのサポート

など

開館時間：午前9時～午後10時まで
(お電話は～午後5時まで)
閉館日：月曜日、祝祭日の翌日、年末年始
駐車場：20台

〒400-0306
山梨県南アルプス市小笠原572-9
電話番号：055-282-7325
ファックス：055-282-7421
<http://minami-alps-cac.com>



m.alps.center373
www.facebook.com/m.alps.center373



MACHI ZUKURI BOOK